



株式会社フルキャストホールディングス

2009年9月期 決算報告

2009年11月13日

Agenda

- ◆ Highlight 2009年9月期業績
(2008年10月～2009年9月)
- ◆ 経営合理化策について
- ◆ 効果検証
- ◆ セグメント別業績
- ◆ 2010年9月期 業績予想

2009年9月期 通期業績

単位:百万円

	2008年9月期	2009年9月期	増減率
売上高	98,989	57,293	-42.1%
売上総利益	24,429	12,840	-47.4%
販売費及び一般管理費	22,782	13,522	-40.6%
営業利益	1,647	-682	—
営業利益率	1.7%	-1.2%	—
経常利益	1,530	-925	—
当期純利益	-2,443	-6,870	—

設備投資額	710	200
-------	-----	------------

※2009年9月期第1四半期にアジアパシフィックシステム総研(株)、第2四半期に(株)インフォピー、第3四半期に(株)フルキャストファイナンス、(株)フルキャストファクトリー、(株)フルキャストセントラル、第4四半期にネットイットワークス(株)の全株式を譲渡しております。

子会社譲渡の影響を除いた連結売上高の前年同期比 ……30.8% 減

2009年9月期 四半期毎の業績推移

単位:百万円

	2009年9月期 第1四半期	2009年9月期 第2四半期	2009年9月期 第3四半期	2009年9月期 第4四半期
売上高	19,456	15,308	12,107	10,423
売上総利益	4,561	3,369	2,521	2,389
販売費及び一般管理費	4,834	3,692	2,794	2,202
営業利益	-273	-323	-273	187
営業利益率	-1.4%	-2.1%	-2.3%	1.8%
経常利益	-282	-404	-367	128
当期純利益	-1,647	-1,135	-2,943	-1,146
設備投資額	97	150	33	17

バランスシート比較とキャッシュフロー状況

単位:百万円

		2008年9月期 末	2009年9月期 末	増減	増減比	備考
流動資産		26,441	10,157	-16,283	-61.6%	現金及び預金が4,963百万円減少、 受取手形及び売掛金が7,825百万円減少 等
固定 資産	有形・無形固定資産	6,092	727	-5,365	-88.1%	のれんが2,997百万円減少、ソフトウェアが624百万円減少、 有形固定資産が1,664百万円減少 等
	投資その他の資産	4,165	2,187	-1,978	-47.5%	差入保証金941百万円減少 等
(資産合計)		36,697	13,072	-23,626	-64.4%	
流動負債		19,723	8,432	-11,291	-57.2%	支払手形及び買掛金が1,197百万円減少、 短期借入金が5,133百万円減少、 未払費用が1,942百万円減少 等
固定負債		6,005	2,915	-3,090	-51.5%	長期借入金が2,837百万円減少 等
純資産		10,969	1,724	-9,245	-84.3%	
(負債・純資産合計)		36,697	13,072	-23,626	-64.4%	

キャッシュフロー状況

2008年9月期 会計期間

2009年9月期 会計期間

営業活動によるキャッシュフロー	△1,621	1,401
投資活動によるキャッシュフロー	△867	1,573
財務活動によるキャッシュフロー	△399	△7,937
現金同等物期末残高	9,878	4,914

特別損益の内容

単位:百万円

関係会社株式売却益	625
固定資産売却益	203
その他	383
特別利益	1,211
■事業リストラクチャリング	
店舗閉鎖損失	650
特別退職金	586
その他	404
■財務リストラクチャリング	
減損損失	1,101
関係会社株式売却損	1,218
債権放棄損	950
債権譲渡損	950
■その他	
雇用調整支出金	469
その他	542
特別損失	6,870
特別損益	-5,660

Agenda

- ◆ Highlight 2009年9月期業績
(2008年10月～2009年9月)
- ◆ 経営合理化策について
- ◆ 効果検証
- ◆ セグメント別業績
- ◆ 2010年9月期 業績予想

2009年5月8日発表 経営合理化策

再編

新ドメインへの
集中

短期人材
アウトソー
シング
事業

(スポットセグメント)

営業
アウトソー
シング
事業

(オフィスセグメント)

リストラクチャリングの
実行



収益体質の確立

事業リストラクチャリング

◆人員削減

2009年5月	(株)フルキャストにて希望退職者募集	276名減
2009年10月	(株)フルキャストテクノロジーにて希望退職者募集	206名減

◆拠点統廃合

2008年10月	(株)フルキャストにて拠点統廃合を実施	43拠点減
2009年5月	(株)フルキャストにて拠点統廃合を実施	30拠点減
2009年9月	(株)フルキャストテクノロジーにて拠点統廃合を実施	3拠点減

◆本社関連

2009年6月	(株)フルキャストアドバンス本社移転
2009年7月	(株)フルキャスト・(株)フルキャストホールディングス本社縮小
2009年9月	(株)フルキャストテクノロジー本社移転

◆子会社合併

2009年2月	(株)フルキャストが、(株)キャストイングバンク・(株)ジョブチョイス東海を吸収合併
2009年5月	(株)フルキャストが、(株)ワンディジョブスタイルを吸収合併

財務リストラクチャリング

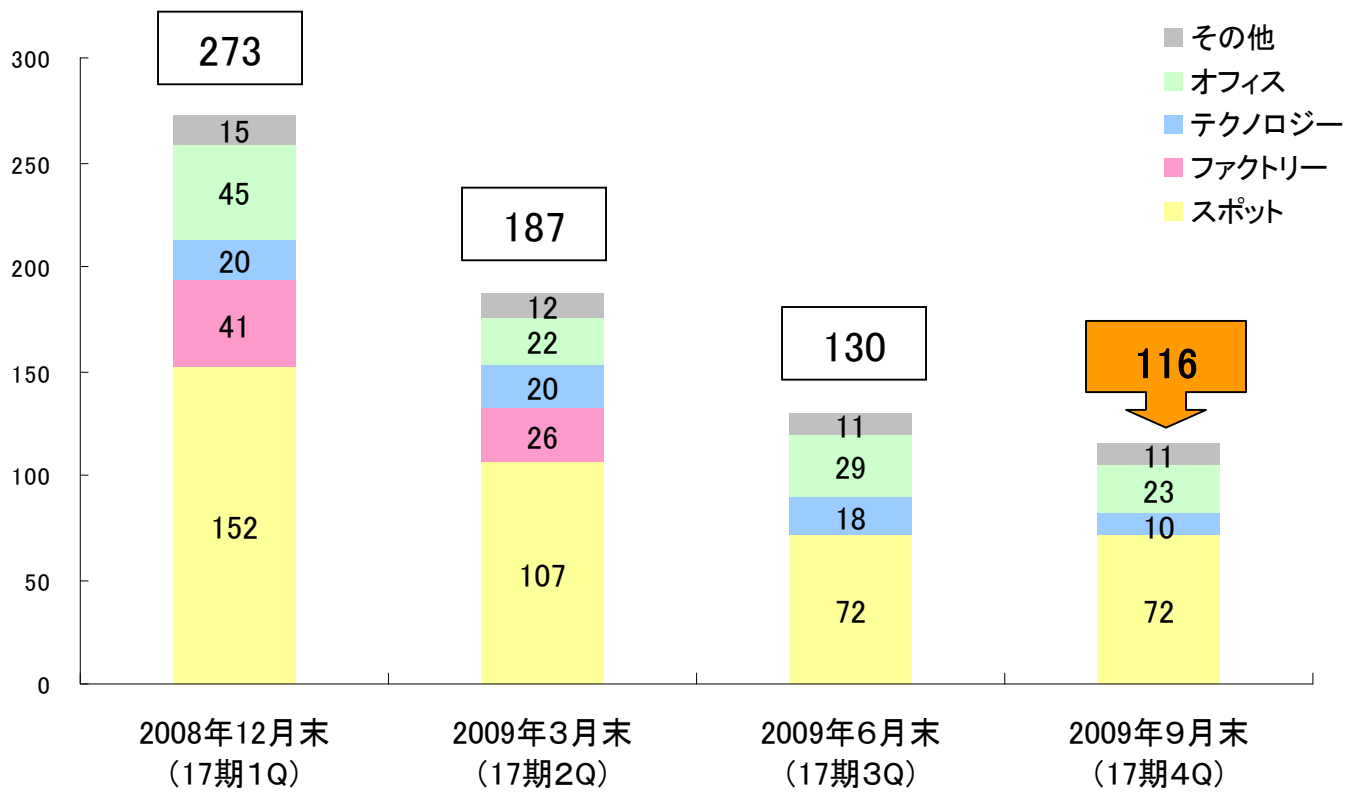
◆子会社売却

2008年11月17日	アジアパシフィックシステム総研(株)
2009年3月16日	(株)インフォピー
2009年5月8日	(株)フルキャストファイナンス
2009年6月1日	(株)フルキャストファクトリー
2009年6月1日	(株)フルキャストセントラル
2009年8月3日	ネットイトワークス(株)

◆非事業資産の売却

2009年8月3日	フルキャストビル
-----------	----------

ーグループ拠点数推移ー



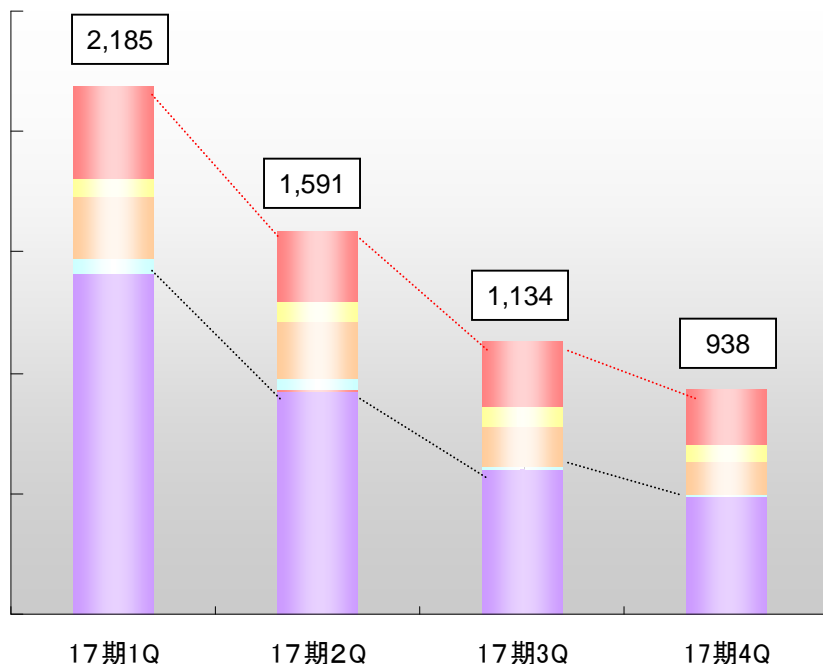
- ◆ オフィス事業において第2四半期に(株)フルキャストのオフィス派遣と短期人材派遣の拠点統廃合を実施
- ◆ スポット事業において第3四半期に大規模な拠点の統廃合を実施
- ◆ テクノロジー事業において子会社の売却を行ったことと、第4四半期において拠点の統廃合を実施
- ◆ 21年6月にファクトリー事業に属する子会社の売却によりファクトリー事業の拠点はゼロに

Agenda

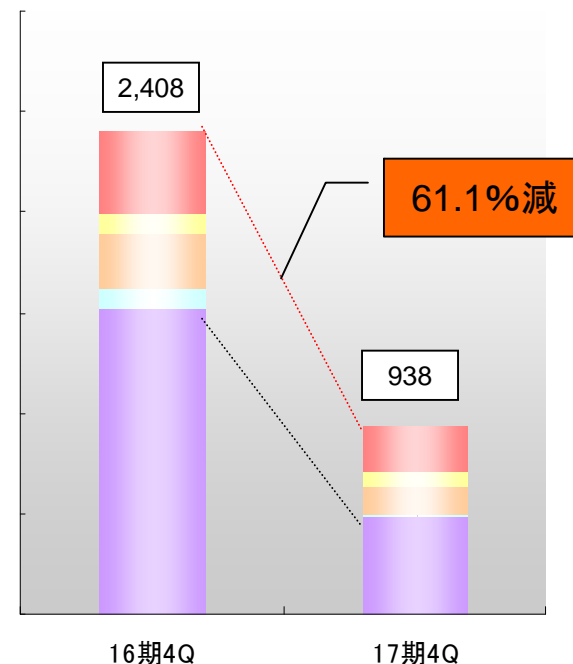
- ◆ Highlight 2009年9月期業績
(2008年10月～2009年9月)
- ◆ 経営合理化策について
- ◆ 効果検証
- ◆ セグメント別業績
- ◆ 2010年9月期 業績予想

効果検証① 一販売管理費一 (スポット事業)

単位:百万円



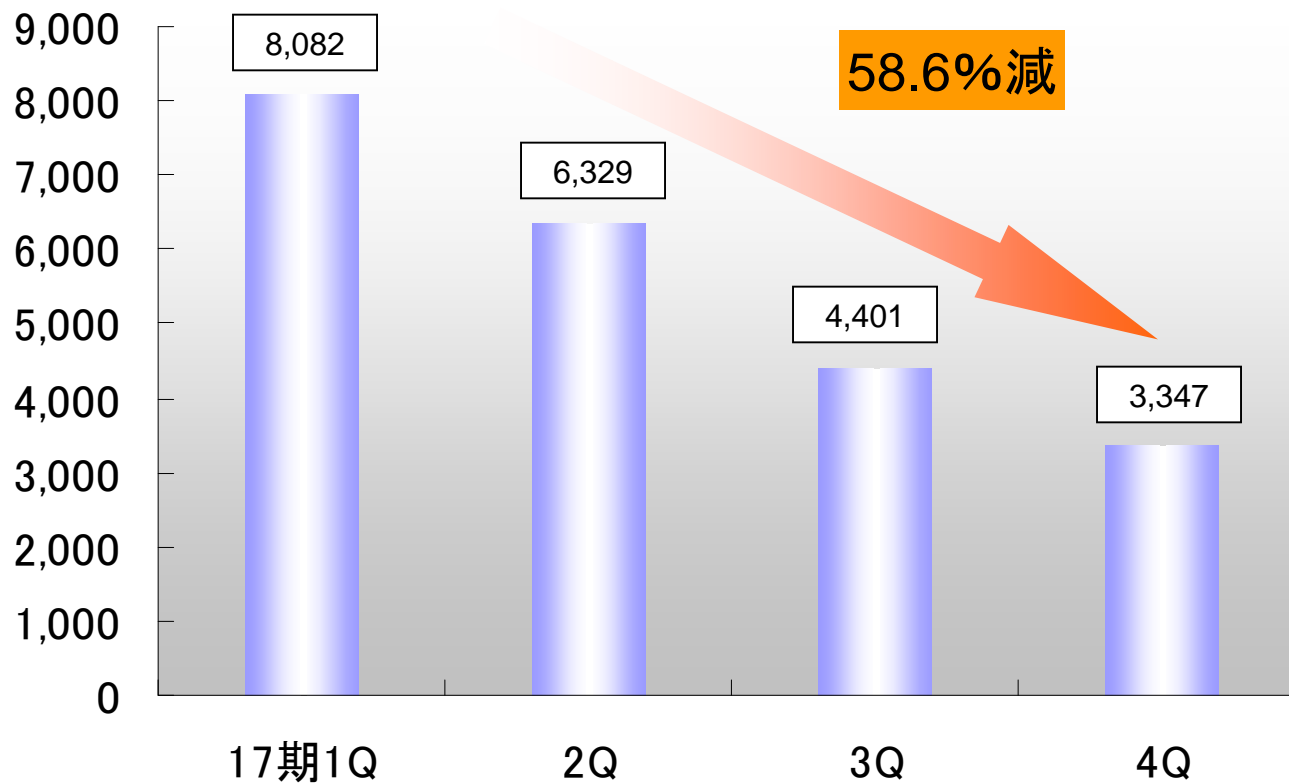
単位:百万円



- ◆アルバイトや契約社員の雇い止め、社員の希望退職者募集により、人件費を大幅に削減
- ◆拠点の統廃合により、地代・家賃を削減
- ◆その他、全社をあげてコストを抑制したことにより、昨年対比で61.1%減

効果検証② 一損益分岐点売上高推移 (スポット事業)

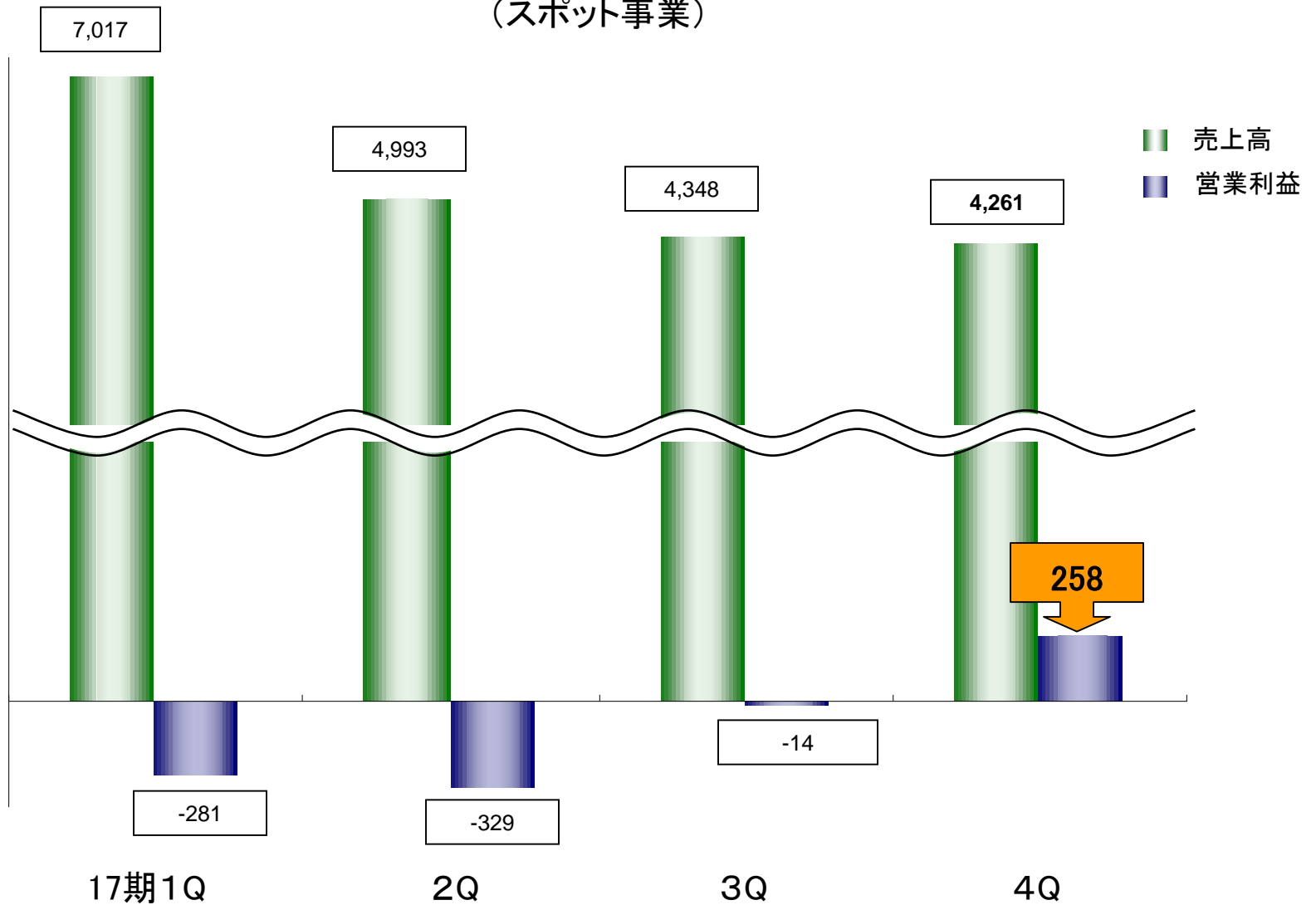
損益分岐点売上高



効果検証③ 一売上・利益変動

(スポット事業)

単位:百万円

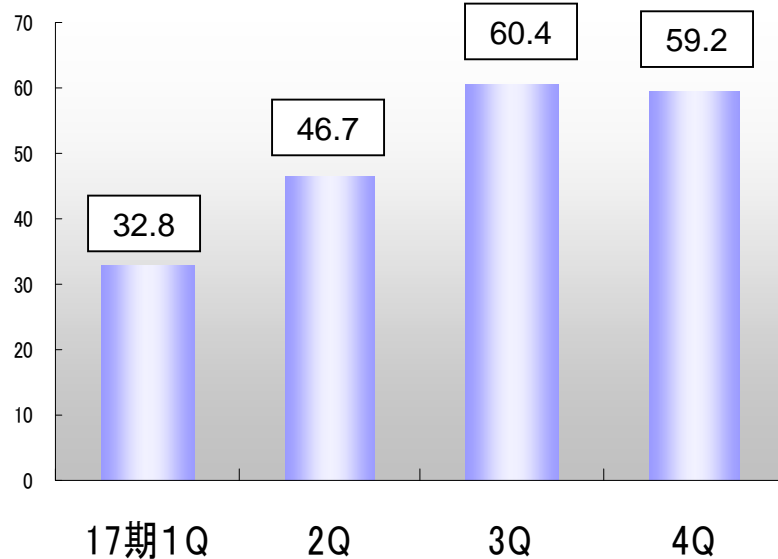


効果検証④ 一効率化分析 売上一

(スポット事業)

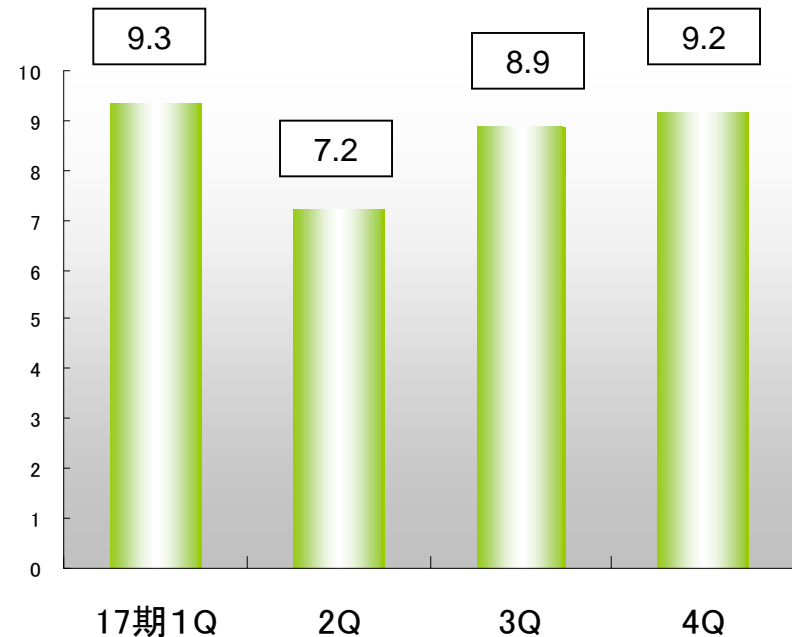
1拠点当り売上比較

単位:百万円



社員1人当り売上比較

単位:百万円

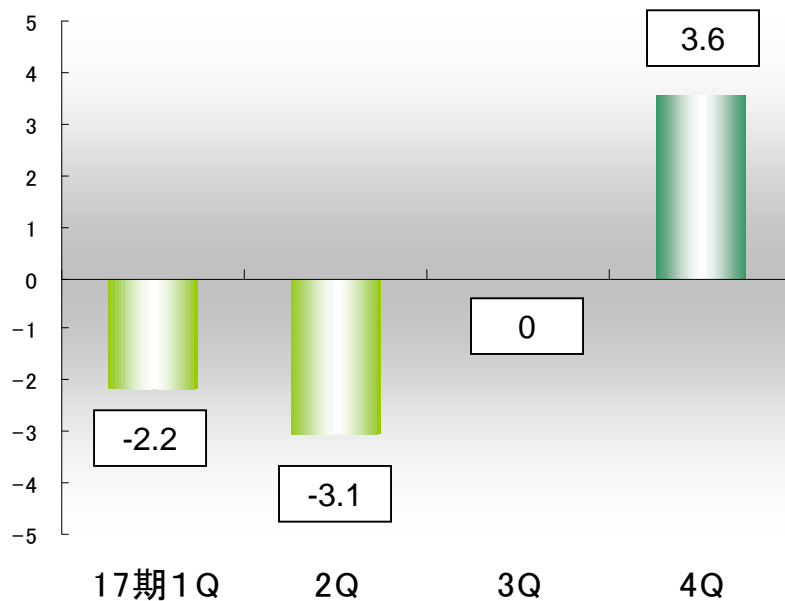


効果検証⑤ 一効率化分析 営業利益一

(スポット事業)

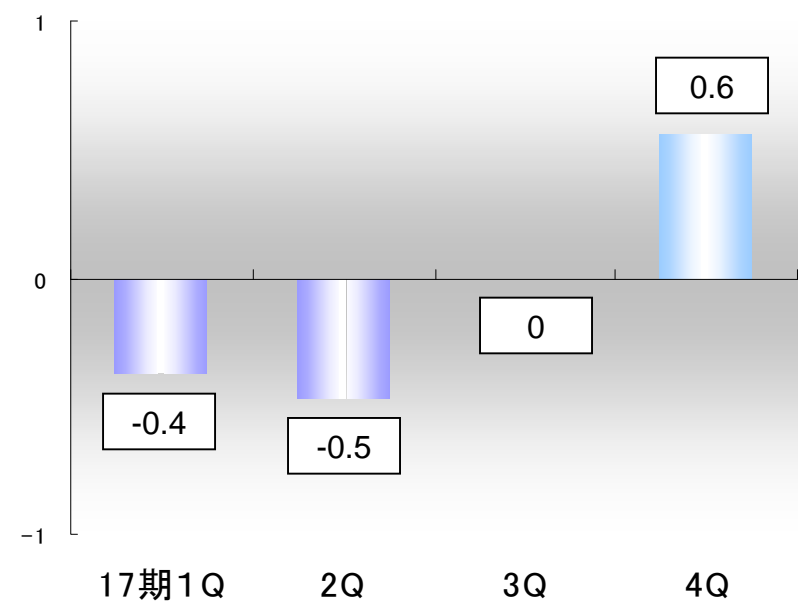
1拠点当り営業利益比較

単位:百万円



社員1人当り営業利益比較

単位:百万円



Agenda

- ◆ Highlight 2009年9月期業績
(2008年10月～2009年9月)
- ◆ 経営合理化策について
- ◆ 策効果検証
- ◆ セグメント別業績
- ◆ 2010年9月期 業績予想

スポット事業 収益比較

単位:百万円

	2008年9月期	2009年9月期	増減率
売上高	37,067	20,619	-44.4%
営業利益	1,538	-365	-
営業利益率	4.1%	-1.8%	-

	2008年9月期 第4四半期	2009年9月期 第4四半期	増減率
売上高	9,452	4,261	-54.9%
営業利益	438	258	-41.2%
営業利益率	4.6%	6.1%	-

- ◆第4四半期は営業活動の効率化などにより売上は下げ止まった(第3四半期売上高4,348百万円)
- ◆平成21年5月以降、フルキャストを中心に実施した希望退職者の募集等による人員削減、拠点統廃合等の販売管理費抑制施策の効果が見られ、第4四半期の黒字化により赤字幅を縮小

オフィス事業 収益比較

単位:百万円

	2008年9月期	2009年9月期	増減率
売上高	12,770	11,245	-11.9%
営業利益	315	-44	—
営業利益率	2.5%	-0.4%	—

	2008年9月期 第4四半期	2009年9月期 第4四半期	増減率
売上高	2,731	3,132	14.7%
営業利益	-139	-40	—
営業利益率	-5.1%	-1.3%	—

- ◆営業アウトソーシング事業における通信機器商材などの販路拡大、受注件数は堅調に推移
- ◆オフィス系人材派遣事業における長期事務案件の需要が伸び悩んだことで売上高が減少し、販売管理費の抑制で粗利減少分を補えず営業損失を計上

ファクトリー事業 収益比較

単位:百万円

	2008年9月期	2009年9月期	増減率
売上高	17,306	6,662	-61.5%
営業利益	167	-399	-
営業利益率	1.0%	-6.0%	-

	2008年9月期 第4四半期	2009年9月期 第4四半期	増減率
売上高	4,124	-	-
営業利益	-33	-	-
営業利益率	-0.8%	-	-

- ◆上半期に見られた製造業における雇用調整の影響が下期も回復が見られなかったため、売上が減少
- ◆(株)フルキャストファクトリー、(株)フルキャストセントラルは、平成21年6月をもって全株式を譲渡。
同6月1日より連結の範囲から除外

テクノロジー事業 収益比較

単位:百万円

	2008年9月期	2009年9月期	増減率
売上高	24,931	14,074	-43.6%
営業利益	911	685	-24.9%
営業利益率	3.7%	4.9%	—

	2008年9月期 第4四半期	2009年9月期 第4四半期	増減率
売上高	6,350	2,459	-61.3%
営業利益	425	39	-90.8%
営業利益率	6.7%	1.6%	—

- ◆子会社の譲渡により売上高の減少
- ◆技術者派遣部門の主要顧客である製造業において、大幅な減産・在庫調整、設備投資の抑制や雇用調整等の実施をする企業が増加
- ◆技術者派遣部門では、売上は減少したものの、販売管理費抑制施策を実施したことなどから、前年度より高い利益を確保

子会社譲渡の影響を除いた売上高の前年同期比 …15.2%減

Agenda

- ◆ Highlight 2009年9月期業績
(2008年10月～2009年9月)
- ◆ 経営合理化策について
- ◆ 効果検証
- ◆ セグメント別業績
- ◆ 2010年9月期 業績予想

事業セグメントの変更

2009年10月1日現在

セグメント	会社名	概要
-	(株)フルキャストホールディングス	グループ全体の最適化戦略の決定、ならびに事業運営の監督、課題対応などを遂行。
短期業務支援事業	(株)フルキャスト	物流・倉庫内作業等の短期系人材サービスを展開。
	(株)フルキャストアドバンス	セールスプロモーション業務等における人材サービスを展開。
	(株)トップスポット	地域密着型ブランド。特定地域に特化した短期系人材サービスを展開。
営業支援事業	(株)フルキャストマーケティング	営業販売支援部門を中心とするアウトソーシングサービスを展開。
	(株)マーケティングスクエア	
	テレコムマーケティング(株)	
技術者派遣事業	(株)フルキャストテクノロジー	製造業を中心とした設計・開発などの幅広い技術系人材サービスと受託開発コンサルティング業務を提供。
警備・その他事業	(株)フルキャストアドバンス	警備業務における人材サービスを展開。
-	(株)フルキャストビジネスサポート	グループ内各種業務を集約して業務を代行。

2010年9月期 業績予想

単位:百万円

	2010年9月期 上期	2010年9月期 下期	2010年9月期 通期
売上高	17,642	16,138	33,780
短期業務支援事業	9,512	6,742	16,254
営業支援事業	4,770	6,071	10,841
技術者派遣事業	2,222	2,128	4,350
警備・その他事業	1,139	1,196	2,335
営業利益	551	1,226	1,777
経常利益	469	1,195	1,664
当期純利益又は損失	-255	1,037	782
1株当り当期純利益又は損失	-662.57	2,694.46	2,031.89

ご注意 上記計画は現段階での当社の意向であり確約するものではありません。

事業別戦略 —短期業務支援事業—

◆短期マーケットでのシェア拡大

クライアントターゲット別アプローチ

1. 多数人材が必要な既存クライアント(大口)⇒当社のインスタシェアの拡大によるマーケットシェア拡大

【施策】 短期に係わる課題を総合的に解決する業務支援サービスを提案

2. 少数人材が必要なクライアント(小口)⇒取引社数拡大のよるマーケットシェア拡大

【施策】 営業の行動計画をより細かく設定することにより顧客接点を拡大

圧倒的なマーケットシェアを獲得することで、業態変更時等にイニシアティブを発揮

事業別戦略 一営業支援事業一

◆通信商材を中心とした営業アウトソーシングに特化

◇営業アウトソーシング事業を展開する(株)フルキャストマーケティングにおいて2009年9月期第4四半期より大幅な組織再編を実施

◇業績が低迷していた派遣部門を清算(閉鎖11拠点)

◇非コア事業であるメディア事業を縮小

代理店販売部門の強化

- 一次代理店であるイー・モバイルの販売代理店網の拡大に注力

コールセンター販売の強化

- 通信回線商材に専門特化した「アウトバウンドコールセンター」での直接販売を強化
(北海道6拠点 福岡2拠点)

合併会社の設立

- 2009年6月に光通信との合併会社テレコムマーケティング(株)を設立、高粗利通信商材販売に注力

FULLCAST HLDGS.



BNY MELLON
DEPOSITARY RECEIPTS

米国預託証券プログラム：

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：100 ADR = 原株1株

米国証券コード(CUSIP)：35968P100

Symbol：FULCY

預託銀行：預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

101 Barclay Street, New York, NY 10286, U.S.A.

TEL：(212) 815-2077

U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS) Web Site：

http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR室：03 - 4530 - 4830

URL：<http://www.fullcast-ir.jp>

e-mail：IR@fullcast.co.jp

Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。

また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。

Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。